

2019年ベースアップ満額回答と新規採用を求める要請！

3月15日、関東地本青年部はベースアップ満額回答と新規採用を求める、「支社要請行動」を関東支社で行い、「要請文」を亀山総務部長に読み上げた上で手渡してきました。

入澤副青年部長は、職場では要員不足で年休が入らない現状や、人事制度改正や消費税増税への不安など青年部員の声を訴え、ベースアップ満額回答と諸要求を強く要請してきました。

要請文は下記のとおりです。

日本貨物鉄道株式会社
常務執行役員
関東支社長 吉澤 淳 殿

2019年 3月 15日

日本貨物鉄道労働組合
関東地本青年部
青年部長 荒木 佑太

2019年ベースアップ満額回答と新規採用を求める要請

JR貨物労組中央本部は2月14日に「2019年度新賃金要求の申し入れ」を行って以降、これまでに4回の交渉を終えています。交渉の中で会社は、「貴組合の主張を真摯に受け止め社内で議論してきた。グループの利益を生み出すために盤石な経営基盤の拡大なども行なっていくことから現時点の考えは、定期昇給4号俸は実施するがペアは厳しい。」としてペア抑制姿勢を示しています。

この間、私たち青年部員は昼夜を分かたず社会的使命を果たすため、度重なる災害や輸送障害で毎日が異常時ともいえる状況のなかで、その対応に全力を挙げてきました。老朽化した設備や予備車が少ない状態においても、1つでも多くの荷物を運ぶ為に臨時列車、復活運転を最先頭で担ってきたのは青年部員を中心としたJR貨物労組組合員です。

現在、原材料高騰による物価の上昇や、社会保険料の負担も年々増しており、可処分所得は年々減っており生活は日々厳しくなっています。一家の大黒柱として家族を養い、生計を立てている青年部員も多く、改めてベースアップ満額回答を求めます。

また、4月には新人事賃金制度が導入され青年部員から不安の声が多く出ています。ペア満額回答によって青年部員のやる気を高める事や、若年退職に歯止めをかけることが重要です。職場によっては新規採用者が配属されず、技術断層が深刻化しています。この現状に直面し、将来を悲観した青年部員の退職が後を絶ちません。私たち青年部員は、昨年初めてベースアップを経験しました。これまでの交渉経過を踏まえ、会社は2年連続のベースアップ実施により青年部員の期待に応えるべきです。

私たち関東地方青年部は、改めて会社経営陣に新規採用を継続して行うことを強く求めるとともに、ベースアップ6,000円満額回答と諸要求の前進を強く要請致しますので、誠意ある回答を示すよう社長へ上申されたい。

以上

それに対し会社からは、「賃上げや諸要求は、本社・本部間の事柄なので社長に伝えていくが、新規採用や人材確保について支社はしっかり考えていく」と、話がありました。

満額獲得に向け各職場から闘いを創り出そう！